

## 火葬炉設備業者プロポーザル 評価基準

評価項目		配点	評価の視点
1 会社内容	(1) 経営状況 (2) 従業員数 (3) 支店等の所在地 (4) 実績	10 点	1 火葬炉設備の信頼性 (1) 安定した売り上げ (2) 他市町村等への納入実績 2 工事請負の確実性 (1) 建設業許可取得 (2) 品質マネジメントの認証取得 (3) 環境マネジメントの認証取得 (4) 技術者数が確保されている。 (5) 他市町村等への納入実績 3 運用時の緊急体制の確立 (1) 緊急時1時間以内に斎場に到着できること。
	2 燃焼計算及びシステムの考え方	15 点	1 火葬炉設備の信頼性 (1) 実験データをフィードバックして条件設定している。 (2) リーク空気量など、空気の流入に関して適正な条件設定がなされている。 (3) 設備フロー、設備仕様書と燃焼計算の条件等と整合性がとれている。 (4) 各工程で燃焼計算結果が適正に示されている。 (5) 排ガス測定データと、燃焼計の排ガス量、温度等の乖離が少ない。燃焼計算と運転状況の差が少ない。
3 火葬炉設備	(1) 主燃焼炉の構造及び設備性能	5 点	1 炉体構造 (1) 安定した燃焼が行うことができる構造である。 2 使用材料 (1) 使用場所に適した材料が使用されている。 (2) 耐久性・断熱性に優れた材料が使用されている。 3 設備性能 (1) 安定した空気供給が可能な設備および能力がある。 (2) 密閉型形式とするなど、燃焼空気が適正に制御できる構造である。 (3) 燃焼計算結果における燃料使用量は、燃料計算上の値と実績値とで差が少ない。 4 炉内台車 (1) 亀裂が生じて汚汁が浸透しないような材質である。 (2) 汚汁に対する悪臭対策が図られている。 (3) 修繕が容易である。 5 遺体の尊厳の確保 (1) 火葬中にデレッキ（火かき）操作をする必要がない。
	(2) 再燃焼炉の構造及び設備性能	5 点	1 炉体構造 (1) 滞留時間1秒以上確保できる構造（容積）である。 (2) 排ガス全体が再燃焼バーナー火炎に接触できる構造となっている。 (3) 再燃焼室全体が高温維持できる構造である。（デッドスペースがない、出口まで温度保持ができる構造である。） 2 使用材料 (1) 使用場所に適した材料が使用されている。 (2) 十分な耐久性・断熱性を有した材料が使用されている。 3 設備性能 (1) 予熱で炉内を800度以上の温度に上昇させることができる。 (2) ダイオキシン類等を分解するために必要な空気を供給できる。 (3) 再燃焼炉出口で残存酸素濃度は6%以上を確保している。

評価項目		配点	評価の視点
3 火葬炉設備	(3) 燃烧装置 (主燃バーナー、 再燃バーナー)	5 点	I 主燃バーナー 1 構造 (1)故障しにくい構造である。 (2)余裕ある空気供給が可能な構造である。 (3)火炎の照射位置変更が容易な構造である。 (4)燃烧範囲が広い構造である。 2 設備性能 (1)炎は長炎・狭角を形成できる。 (2)耐久性に優れている。 II 再燃バーナー 1 構造 (1)故障しにくい構造である。 (2)余裕ある空気供給が可能な構造である。 (3)燃烧範囲が広い構造である。 2 設備性能 (1)火炎は短炎・広角を形成できる構造である。 (2)耐久性に優れている。 (3)排ガス処理を行うための合理的な機能を有している。
	(4) 排気系統	5 点	1 構造 (1)排ガス冷却設備は適正に冷却可能な構造である。 (2)排ガス冷却設備は保守点検が容易な構造である。 (3)排ガス基準を遵守可能な排ガス処理の機器が選定されている。 (4)排ガス処理設備は保守点検が容易な構造である。 (5)耐食性の対策がなされている。 (6)排気筒は騒音対策、降雨・降雪、大気拡散を考慮した構造となっている。 (7)排気筒は設定高さ以下である。
	(5) 電気・計装設備	5 点	1 炉の温度・空気等の制御 (1)温度の自動制御機能が適正である。 (2)空気投入制御機能が適正である。 2 運用面への考慮 (1)日常メンテナンスがシステムに組み込まれている。 (2)異常があれば直ちに内容が分かるシステムになっている。 (3)運営支援システムがある。
	(6) 台車運搬車 及び棺運搬車	5 点	1 台車運搬車 (1)前室（冷却室）から台車の移送を自動的に行うことができる。 (2)収骨時において会葬者に対する安全性が確保されている。 2 柩運搬車 (1)柩の運搬や転載が少人数で安全に行える。 (2)柩の運搬時において会葬者に対する安全性が確保されている。 3 デザイン (1)デザインに配慮し美観的に優れている。
4 環境保全対策	20 点	(1)主燃バーナー着火時から性能が発揮できる構造である。 (2)火葬炉設備の公害防止対策の考え方が適切で、適正な機器が選定されている。 (3)公害防止目標値（排出基準値）が守られている。 (4)排ガス測定が適正に行われた測定データが添付されている。	

評価項目		配点	評価の視点	
5	火葬炉設備設置スペース	20点	(1)火葬炉設備がコンパクトにまとめられている。 (2)メンテナンスに必要な通路が確保されている。 (3)建物の高さを低くできる。(1FL+12m以下)	
6	メンテナンス (1)保守点検 (2)サービス 及び緊急体制	20点	(1)日常の運用が複雑ではない。 (2)愛知県内に事務所・営業所があり、技術員が常駐している。 (3)運用上のサービス・緊急体制が確立されている。 (4)トラブル時に短時間で対処可能なシステムが導入されている。	
7	維持管理費	20点	(1)電気・燃料費は燃焼計算との整合性がとれている。 (2)余裕率に基づいた稼働率とし計算がなされている。 機器設定の考え方と稼働率の考えが適正である。 (極端に低い稼働率でない。) (3)修繕費が適正である。 (火葬炉設備設置工事費が極端に安価である分、点検費・修繕費を要しているといった不均衡がない。) (4)機器の補修サイクルと修繕費の算出の考えが適正である。 (5)定期点検費(小修繕を含む)の考えが適正である。	
8	工事費	30点	(1)工事費が適正である。(極端に安価である分、保守点検費を要しているといった不均衡がない。) (2)要求水準書を満たした機器が網羅されている。 (3)組合が示す予算額をオーバーしていない。	
9	特許及び実用新案	20点	(1)火葬炉設備の性能に係る特許及び実用新案がある。	
10	提案書	(1)火葬炉設備に関する基本的な考え方	10点	火葬炉設備計画の考え方が適正か、火葬炉設備の在り方として遺族や会葬者への配慮等がなされているものを評価する。
		(2)火葬炉設備のシステム構成及び特徴	10点	火葬炉設備の構造、設備性能に問題がなく、他社にない優れた特徴があることを評価する。
		(3)運営に関する提案	10点	効率的な運営を図るための設備提案がなされていたり、運営管理従事者に対する労務負担の削減方法など他社にない特徴があることを評価する。
		(4)アフターサービスの考え方と体制	10点	保守・点検の考え方、運営管理従事者及び派遣技術者の教育方針がしっかりしており、緊急時の対応がなされているものを評価する。
		(5)安全及び緊急停止時の対策	10点	災害等非常時の対策など、火葬中の緊急停止時の対策等や安全対策が適正に講じられているものを評価する。
		(6)環境に関する取り組み	10点	排ガス、臭気、騒音、振動など環境対策が十分になされ、他社より優れていると思われるものを評価する。
		(7)コスト縮減について	10点	設備設置費用、運用費用縮減の対策がなされ、かつその対策が具体的で実現可能だと思われるものを評価する。
		(8)効率的な施工方法の提案及び品質管理に関する取組方法	10点	工期短縮の方策など効率的な施工方法等の提案がなされていたり、品質管理に関する取組方法が適正であるものを評価する。
		(9)火葬炉設備に関する自由提案	10点	提案書の項目にない特徴など、他社にない特徴として優位性があるものを評価する。
合計		275点		